



Press Release

報道関係各位

2025 年 6 月 30 日

H m c o m m株式会社

水道産業新聞に、異音検知プロダクト「FAST-D」×衛星データ等の 取り組みに係る取材記事が掲載されました

異音検知によるインフラメンテナンス DX のリーディングカンパニーである H m c o m m株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：三本 幸司）は、音×AI による異常音検知技術を強めとし、社会インフラの維持・保全に貢献するソリューションを提供しています。特に水道管の老朽化という社会課題に対し、地理空間・衛星データの活用により、漏水箇所を広域からピンポイントで特定する取り組みを推進中です。このたび、当社の取り組みが新聞社に取材され、記事として掲載されました。

異常音解析で漏水特定を 広域データと組み合わせ		Hmcomm	
AI音声処理技術を基 盤とした要素技術の研究・開発やソリューション・サービスの提供を行うHmcomm（エイチエムコム）は、地理空間・衛星データを活用する専門チームと連携した漏水検知プロジェクトを始動した。衛星データなどの広域データによる漏水リスクの解析と、地上でのAIを活用した異常		音解析による漏水箇所の特定を組み合わせた、漏水リスク推定から具体的な位置検知まで一気通貫でサービスを提供していくことを目指し、現在は実証実験を行う水道事業体を広く募集している。今回のプロジェクトは、宇宙ビジネスメディアの創業者、衛星プラットフォームの開発者など、衛星データ・地理空間情報活用専門家が集結したチームと連携して推進する。地理空間・衛星データを活用してエリアごとの漏水リスクを解析し、異音検知AIソリューション「FAST-D」を活用した漏水音の検知によりピンポイントで漏水箇所を特定する、広域からピンポイントへ「一気通貫」の漏水検知DXを提供すること、漏水の早期発見によ	
同社の担当者は「現地		る漏水リスクの最小化と、効率的な漏水調査の実施によるコストの削減を実現することで、持続可能な水道運営に貢献する。現時点で、使用するデータは、地表面温度とといった衛星データ、降水量、交通量、人口、ハザードマップなどの地理空間データ、水道管データなどを想定している。FAST-Dは、機械など正常稼働している場合の音と、異常な状態になっている場合の音をAIで分析し、外れ値を検知することで、安定的なモニタリングや異常の早期発見、予兆検知などに活用するもので、今年度から山形県企業局と送水ポンプの異常検知に関する取り組みを行っているほか、成田空港などでの実証実験を有している。	
水 道 産 業 新 聞			
2025年（令和7年）6月23日付			

■ H m c o m m株式会社 執行役員 白井 秀範

衛星・地理空間データと AI 音声解析を組み合わせることで、これまで“見えなかった”漏水リスクを可視化します。自治体・事業者のコスト削減と迅速対応を実現し、安全な水道インフラ構築に貢献してまいります。

【FAST-D について】

H m c o m mが開発した異音検知 AI ソリューション「FAST-D」は、すでに成田空港などでの実証実績を有し、音を活用した異常検知の信頼性に高い評価を得ています。本プロジェクトでもこの技術基盤を活用し、水道管から発生する漏水音を高精度で捉える仕組みを構築します。

【H m c o m m株式会社について】

代表取締役社長 CEO 三本 幸司

URL <https://hmcom.co.jp>

設立日 2012 年 7 月 24 日

所在地 東京都港区芝大門 2 - 1 1 - 1 富士ビル 2 階

事業内容 人工知能（AI）音声処理技術を基盤とした要素技術の研究/開発およびソリューション/サービスの提供を行っております。コールセンター向け AI 音声認識プロダクト「Voice Contact」「Terry」と異音検知プロダクト「FAST-D」を基盤とし、「音から価値を創出し、革新的サービスを提供することにより社会に貢献する」を理念としています。

<本リリースに関するお問合せ>

報道関係者様：H m c o m m株式会社 IR 担当 hm_ir@hmcom.co.jp

企業様：H m c o m m株式会社 営業マーケティング部 sales_team@hmcom.co.jp

TEL：03-6550-9830 FAX：03-6550-9831